

2021年3月31日

各 位

株式会社ケーエムケーに対する伴走型支援について ～東日本広域復興支援ファンドによる投資実行～

株式会社長野銀行(頭取 西澤 仁志)は株式会社ケーエムケー(本社:長野県埴科郡坂城町、代表取締役:川島 隆教、以下「当社」という。)に対し、株式会社地域経済活性化支援機構(以下「当機構」という。)と連携し、伴走型支援に取組み、当機構のファンド運営子会社である REVIC キャピタル株式会社が東邦リース株式会社、株式会社常陽産業研究所、株式会社あしぎん総合研究所、八十二キャピタル株式会社、株式会社 AGS コンサルティングと共同で運営し、当行が組合員として参加している「令和元年台風及び新型コロナウイルス等被害東日本広域復興支援投資事業有限責任組合(通称:東日本広域復興支援ファンド)」(以下「本ファンド」という。)において、当社からの優先株式を引受け、出資を実行しましたので、お知らせいたします。

当社は、プラスチックを中心とする工業用樹脂製品、及び同金型製造を主業とし、工業用部品製造において、高い企画提案力および設計力を有しています。特に多品種・少量生産・短納期の部品製造に強みを持ち、県内外に幅広く有するパートナー企業とのネットワークのもと、企画から部品製造までを一気通貫で提供しています。また、当社は、新型コロナウイルス感染症拡大による経営環境の変化を踏まえ、競争力の維持・向上を図り、更なる成長を実現するため、財務および事業基盤の構造変革に取り組んでいます。この取組みを通じ、当社は部品製造だけでなく、完成品を手掛ける「ワンストップソリューションカンパニー」への成長を目指します。

地域経済を支える中小製造業の取組みは、対象地域の経済復興に留まらず、地域の再成長・経済活性化にも寄与し、本ファンドの趣旨にも合致することから、本ファンドは、財務体質強化を目的とした優先株式の引受および当社経営陣と協調した事業基盤整備を通じて、当社の更なる成長を支援します。

当行は、今後も、取引先企業の経営課題解決、成長戦略に向けた伴走型支援を徹底し、外部機関等と連携しながら、取引先企業の更なる基盤強化、雇用創出、地域経済活性化に貢献してまいります。

【株式会社 ケーエムケーの概要】

本社所在地	長野県埴科郡坂城町
設立年月	1972年2月
代表者	川島 隆教
事業内容	工業用樹脂製品および同金型等製造
取引先金融機関	長野銀行 他

以 上

必要とされ選ばれる銀行
～長野県のマザーバンク～
金融サービス業を通じ、お客さま、株主、従業員、地域から必要とされ選ばれる銀行、長野県のマザーバンクをめざします。

【お問い合わせ先】

総合企画部 広報担当 TEL:0263-27-3312 (田原)
ソリューション営業部 TEL:0263-27-3925 (宮本)
〒390-8708 松本市渚 2 丁目 9 番 38 号
URL <https://www.naganobank.co.jp/>

 **長野銀行**